

除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性トウモロコシ MZHG0JG 系統（飼料） に係る食品健康影響評価について

1. 経緯

遺伝子組換えトウモロコシ「除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性トウモロコシ MZHG0JG 系統」（以下「MZHG0JG トウモロコシ」という。）については、平成 29 年 2 月 15 日付けでシンジェンタジャパン株式会社より遺伝子組換え飼料の安全性審査の申請があったことから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

2. 評価依頼品種の概要

MZHG0JG トウモロコシには、除草剤グリホサート及びグルホシネートに対する耐性を付与するため、*mepsps-02* 遺伝子及び *pat-09* 遺伝子が導入されている。

トウモロコシ由来の *mepsps-02* 遺伝子によって産生される mEPSPS タンパク質は、グリホサートによる影響を受けない。mEPSPS タンパク質が、グリホサート存在下でも生長に必須の芳香族アミノ酸の合成を可能とすることにより、植物にグリホサートに対する耐性を付与する。

Streptomyces viridochromogenes 由来の *pat-09* 遺伝子によって産生される PAT タンパク質は、除草剤グルホシネートを除草活性のない化合物に変換することにより、植物にグルホシネートに対する耐性を付与する。

3. 利用目的および利用方法

MZHG0JG トウモロコシの飼料としての利用目的や利用方法は、従来のトウモロコシと相違がない。

4. 諸外国における申請等

申請国	申請・確認年月	申請先
オーストラリア・ ニュージーランド	2016 年 4 月確認終了	オーストラリア・ニュージーランド 食品基準機関（FSANZ）
カナダ	2016 年 5 月確認終了	カナダ食品検査庁（CFIA）
米国	2016 年 2 月確認終了	米国食品医薬品局（FDA）